

# 樹海の魔女のメモ

～リユニオンの解説と、より応用的なテクニックについて～

## ごあいさつ

はじめまして。

私は.....そうね、この辺りでは《樹海の魔女》と呼ばれているから、そう名乗らせてもらうわ。

今回は私の友人たちの許可を得て、リユニオンにまつわるより高度で応用的な技法の解説をするわね。

貴方の理解がはかどるよう、なるべく明瞭に説明していくつもりだけど.....

もし解らない部分が出てきたら、自分で調べたり考察を巡らせるようにしてもらえると嬉しいわ。

それじゃあ、早速だけど概念の基礎説明から始めるわよ。

## 《魂のカケラ》について

あらましはフォーリンちゃんが説明してくれているけれど、理解を深めるために私からも補足しておくわ。

《魂のカケラ》は、簡単に言えば愛着や執着のコア。強い感情エネルギーがトリガーとなって生まれる、貴方の小さな分霊。

それは貴方のエネルギーを消耗させる霊的なコードの取っ掛かり.....フックやアンカーの性質も持つ。

貴方の中に相手の因子が、あるいは相手の中に貴方の因子が残っているせいで、表面的には終わった関係なのに、何度も何度も思い出しては感情がぶり返してしまうの。

でも、実はこれは珍しい現象ではなくて、他人の中以外にも.....例えば憧れの国、ひどく怖い思いをした場所、大好きなキャラクターや幼い頃から一緒にクマのお人形.....そういったものの間にもしばしば起こることなのよ？

ポジティブ/ネガティブ関係なく、強い感情を覚えた対象の中にカケラを置いてきてしまう.....という仕組みなの。空間や概念にも宿る可能性があるだけでなく、次元や時間軸、世界線をも簡単に超越するわ。

それから、気付かぬうちに他者にカケラを盗まれている...そういうケースもあるわね。

つまりほとんどの人間はまさに『魂をすり減らしながら生きている』のよ。



## 《リユニオン》について

### 《リユニオン》の適用範囲

この技法の得意分野について説明していくわね。

① まず対人や対物。貴方が相手に強い感情を抱いているのであれば、生死はおろか、たとえ架空とされる対象であってもこの技法の適用内。特に物理的にはもう繋がりが弱くなっていたり失われている相手ほど有効よ。

典型は別れた恋人や過去に酷いことをされた相手、引退したアイドル、死別した縁者やペットが忘れられなくて、感情や思考、行動に悪影響を与え続けている……そういったケースね。

とは言っても、現在進行形で愛憎を繰り広げたりしている相手に対して効果がないわけではないの。

ただ、関係が継続することで、新たにカケラをお互いに作ってしまってまた同じことを繰り返す……そうなりがちだから、結果的に効果を感じにくい場合があるのよ。

対策として最低限週一くらいのペース(理想としては、対象との間に強い感情を伴うイベントが起きたタイミング)でこの技法を実行することと、ファルミシエル女史が教えている《死神の鎌》などで貴方と対象を繋いでいる霊的なコードを切ること、このふたつの併用をオススメするわ。夢乃屋ネムリちゃんの《エンキリバサミ》もいいわね。

続けていくうち徐々に、ともすれば急激に相手への想いが薄くなっていくから。

想いが薄まれば相手に振り回されることも少なくなって、おのずから縁も薄れていくわ。

② 次に、『《魂のカケラ》について』でも説明した通り、空間や概念。

例をあげれば……大勢の前で失敗して大恥をかいで以来、その場所に行こうとすると冷や汗が出るようになった……とか、ある団体のことが嫌いで嫌いで仕方がなくて、逆にそのことばかり考えている……とかね。

もしこのケースでリユニオンの効果が薄い時は、カケラを落とすに至るまでの状況に複合的な要素……誰かにバカにされた等の別の原因も絡んでいて、そっちにもカケラを落としていることがあるから、改めて心当たりを探ってみるといいわ。それから、次章の『《カケラ》の持ち合い』も参考にしてみて。

『先輩に呼び出されてひどい目に遭わされたせいでトラウマになっている場所がある』などは、人と空間の複合ケースだから、両方からリユニオンしてね。

③ 他者に奪われた才能など。

これはケースとしては珍しくないのだけれど、少し特殊なので後述するわ。

私から教える適用範囲は以上だけど、貴方のアイデア次第でユニークな使い方ができるかも知れないわね。



## 《カケラ》の持ち合い

強い感情を交わしあった対象とは、互いの魂のカケラを『持ち合い』している場合がほとんど。

持ち合いというのは、貴方の中に相手のカケラが、相手の中に貴方のカケラが残ってしまって、互いに複雑な感情が生産され続け、霊的コードを切っても切ってもまたどちらからともなく繋がってしまう……という悪循環が起きやすい状態、いわゆる腐れ縁ね。

相手の中にあるカケラは本来貴方のもので、貴方の中にあるカケラは相手のものだから、このいびつな捻れを正常に戻すことは、貴方が当事者である限りにおいてなら、魔法の大原則のひとつである他者不干涉の原則に抵触しないわ。

思い当たる相手からどんどん取り戻して、自分の中からも抜き出して、身も心も軽くなることをオススメしておくわね。

……間違ってもこの技法を使って他人の問題に首突っ込んだらダメよ？ 痛い目を見ても知らないわよ。

変則的ケースとして、一度も言葉を交わしたことがないような片思いや、アイドルや推しキャラのような一方的な愛着を捧げた対象であっても、取り込んだ情報が貴方の中で『結晶化』したり、無意識に対象に自分のカケラを捧げてしまうなどの理由で持ち合いが生じていることがあるわ。長くなりすぎるから細かい説明は省くけれど、これはたとえ架空のキャラクターや一般に命を持たないとされるモノであっても起こり得るの。相手が空間や概念でもあり得る話ね。

この場合も対処法は一般的な持ち合いと同じよ。

あらゆるケースで持ち合いを想定するくらい慎重でも構わないわ。もしアテが外れたとしても、対象に何も起こらないだけだから。

## 強引に奪われたり、無自覚のうちに盗まれた《カケラ》を取り戻す

さて、他人に自分の魂の一部を奪われていた…というケースの話に入りましょうか。

この世界には、手練手管を尽くして他者のエネルギーをかすめ取ろうとする者たちが存在していることはもう知っていると思うけれど、そういう輩に貴方の『一番美味しいところ』をいただかれてしまった、というパターン。

実践パート音源では自らの魂の波長を利用したソナーで探し出す方法を採用しているけれど、この作業が少し大変だという貴方は、『魔法使い入門 1 第四巻 ガイドを呼び出す』の《ガイド》またはそれに類する存在か、『エクスキューショナー File.05 魔法の猟犬 -追跡技法チェイサー-』の《チェイサー》がいたら楽ね。

「奪われたり失くした私のカケラを探して持ってきて欲しい」と願えば、きっとそのようにしてくれるから。

特に《チェイサー》はこの技法と相性抜群。どんなところに隠されていたとしても確実に探し出してくれるわ。

もし、カケラを感じた座標の近くに嫌な気配を放つ何かがいいた場合は、魔法使い入門 1 の《エナジーブレード》やファルミシェル女史の《リーパー》や《死神の鎌》で成敗しちゃっても構わないわよ。

隠し持っていたカケラを追加で吐き出してくれるかも知れないしね、うふふっ。



《カケラ》集めをこまめに行なっていくと、貴方の健康や強さ、情熱、若さや明晰さ、才能や美しさなどの魅力がどんどん増していくでしょう。

私に言わせれば、本来あるべき状態を取り戻した結果なのだけれども、ね。

## トラウマの原因を思い浮かべたくない場合の運用法

トラウマに関連することを少しイメージするだけで動揺してしまって、心身のバランスを崩してしまう……実践パート音源の方法ではフラッシュバックを起こしてしまいそうで不安、きっとそんな人もいるわよね。

この章ではそんな貴方へ、より穏やかな運用法を提案するわ。

前提条件は『魔法使い入門 1 第四巻 ガイドを呼び出す』、『エクスキューショナー File.05 魔法の猟犬 -追跡技法チェイサー-』のどちらかを学んでいること。または、この手段に適した能力を持ち、信頼できる見えないお友達が既にいること。

①《ガイド》か《チェイサー》をお願いして対象の中にあるカケラを持ってきてもらい（直接触れないように指示しておく、より安全）、よく浄化して自分の中に戻す。

② 自分の中にあつた対象のカケラも、同様に《ガイド》か《チェイサー》に戻してきてもらう。

心情的に許せなくて②がどうしても無理……という人もいるかも知れないから、他の選択肢も書いておくわね。

### ②-ii 魂管理局に任せる

この世界のどこかのレイヤーには、あらゆる魂を管理する場所があるの。管理と言っても個人を常時監視しているとか、帳面に善行悪行をカウントしているとか、そういうものではないんだけど……

確か『魂管理局』と呼ばれていたかしら？……少し違う名前だったかも知れないけれど、言葉の意味として間違っはいいないから今回はこれで通すわ。

②で取り除いた対象のカケラを、《ガイド》か《チェイサー》にそこへ持っていってもらるか、『魂の管理者』を呼び出して預けるの。そうすれば後は管理局のスタッフが最適に取り計らってくれるから、貴方はもう忘れて大丈夫。

対象に貸しが多すぎてこれでも気が収まらない場合は、カケラが対象の本体とリンクしていることを利用して対象のカケラを炎で灼いて浄化するなり、《死神の鎌》などで懲らしめてから返却してもいいけど、カルマの観点からくれぐれもやり過ぎには注意してね？

それから、この作業中は平常心を保つように努めてちょうだい。感情をトリガーにして、新たな執着の種が生まれるかも知れないから。

いい機会だから、嫌な記憶や恥ずかしい記憶がフラッシュバックした場合のおまじないを覚えておくわね。

平常心であるよう努めながら、「この記憶は要らない」とつぶやいて、記憶をリサイクルボックスに捨てるイメージをするの。

そうすればその記憶は分解され、エネルギーに還元されて、思い出す頻度が減っていくわ。



## 『完全体』になる

最後に、魔法の猟犬《チェイサー》に頼んですべてのカケラを取り戻す場合の話をするわね。

前にも書いたけれど、この技法と《チェイサー》の相性は抜群で、貴方は簡単に魂の完全なリユニオンを達成できてしまうの。

でも、人によってはリセットするのがもったいない.....愛着を持ち続けたい相手や事象もあるんじゃないかと思うわ。

そういう場合は貴方が望めば、ネガティブな影響を与えているカケラだけを取り除いてあるべき場所に返し、ポジティブな関係性を与えてくれるカケラは残しておくようにすることも出来るわよ。

方法は簡単、意識でフィルターをかけて、選択範囲を設定するだけ。

「私に悪影響を与えていたり、もはや役に立っていないカケラを集めて持ってきて」.....こんな感じね。

私は個人的にポジティブなものもネガティブなものも再結合することをオススメするけれど.....

だって、自分にとっては思い出すたび元気をくれる何かだったとしても、相手にとってはエネルギーを奪われて迷惑千万という可能性も捨てきれないし、あまりに愛着が強すぎると、それ自体が貴方にとってのセキュリティホールと化して、よくない想いを抱いている輩に付け込まれるような隙が生じかねないからよ。

貴方の「大好き」や「大嫌い」を利用して、感情に揺さぶりをかけてくる人にはよくよく気をつけてね？

意識的か無意識かはともかく、大抵は貴方の魂の輝きを盗もうと狙っているタイプよ。ふふっ。

それから、この世界では気をつけていても魂のカケラを落としがちだから、思い出した頃にまたこの技法を実践するのをおすすめしておくわ。

たとえば年末の大掃除のついでに、年に一度の《リユニオン》。

どう？ 悪くないんじゃないかしら？